

知っていますか？

水道部のしごと。

水道部は、良質な上下水道サービスの提供と安定的で効率的な事業運営を通じて、市民の皆さんが安心して生活できるまちづくりを目指しています。

今回は、平成22年度の決算の概要と水道部の取り組みについてくつかお知らせします。

若手職員が水PR作戦会議を発足

水を守り、生活を守る。私たちの仕事についてもっと知っていただきたいとの思いから、20代の若手職員が集まり「水PR作戦会議」を立ち上げました。

活動1年目の今年は、えべつ消費者まつり（5月）・えべつ環境広場（6月）に参加し、ミネラルウォーターと水道水を飲み比べる「きき水」、「検針メータ実演」、1㎡分のペットボトルを積み上げた「ペットボトルタワー」の展示など、市民のみなさんに「実感してもらおう」をテーマにしたPR活動を行いました。

「水」については、私自身もこの仕事について初めて知ったことがたくさんあります。ちなみに水道水は、冷蔵庫で冷やして飲むと蛇口からそのまま飲むよりずっとおいしいんですよ。ぜひ、お試しください！

水道整備課
竹次 豪太



なんと、参加者155名中、86名が江別市の水道水をミネラルウォーターよりもおいしいと評価。

水質基準の全項目で基準値を満たしている安全・安心な水です。水質の検査結果については、水道部ホームページまたは水道庁舎1階営業センターにてご覧いただけます。

きき水の様子



1㎡=約188円で提供されている江別市の水道水。1㎡は2ℓのペットボトル500本分。その水量の多さと水道料金の安さに驚きの声がたくさん聞かれました。12月1日(木)～9日(金)まで水道庁舎一階ロビーで再び展示します。

ペットボトルタワー



検針メータ実演



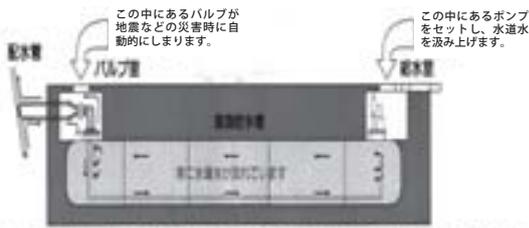
水道料金の積算根拠となる検針メータを見たことがありますか？意外にじっくり見たことがある方は少ないのではないのでしょうか。少量の流水でもしっかり反応するんです。

緊急貯水槽の地域説明会

1日3ℓの水(生命維持に必要な最低量)を約5500人に3日間供給することができる緊急貯水槽が市内の公園などにあることを知っていますか？



緊急貯水槽からの水のくみ上げ体験の様子



① 総務 50立方メートル ② 総務 20立方メートル ③ 建設 10立方メートル ④ 建設 17立方メートル ⑤ 建設 10立方メートル

緊急貯水槽概略図



緊急貯水槽設置場所

緊急貯水槽は、災害などによる断水時に水道水を供給する施設で市内5か所の公園などに設置されています。平常時は配水管と接続され新鮮な水が流れていますが、地震などによって配水管が破損すると貯水槽と配水管を結ぶバルブが自動的に作動して遮断し、非常用の水を確保するものです。水は人間の重要なライフライン、「もしも」に備えて万全の対策を取っておくのも水道部の大切な仕事です。

災害時に備えて、毎年地域説明会を開催しています。今年9月に、とちのき公園の緊急貯水槽にて周辺の地域を対象として開催しました。当日は、担当者の説明のあと、実際に手動ポンプを設置し、水のくみ上げ体験をしてもらいました。

毎年、緊急貯水槽を設置している地域の自治会に説明会のご案内をしていますので、ぜひご参加ください。

詳細 水道部水道整備課
☎ 383-2439

出前講座を実施しています

「水」は誰にとっても大切なもの。
だからこそ水道事業についてもっと知ってもらいたい。

職員がみなさんのもとへ出向き、水道事業についてわかりやすく解説する出前講座を行っています。身近でありながらも、あまり知らない「水」について学んでみませんか。お気軽に申込みください。10人以上のグループが対象です。

詳細・申込みは各担当課へご連絡ください。

水道部では、6月に初めての出前講座をしらかば親和会で実施し、「水道のしくみ」をテーマに、江別市の水源、給水区域、水道管の種類と役割など、水道水が家庭に届くまでの説明や、節水方法や漏水の発見方法、災害の備えなどについて解説しました。

水道部の出前講座メニュー

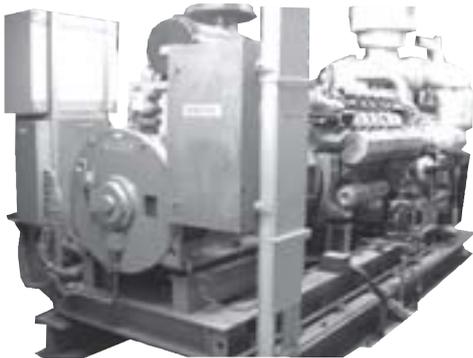
- 江別の上下水道の歴史
【総務課☎ 385-1213】
- ご家庭の水道について
【営業センター☎ 385-4989】
- 水道のしくみ
【水道整備課☎ 385-1216】
- 浄水場で水道水ができるまで
【浄水場☎ 382-2756】
- 下水道のしくみ
～家庭からの排水が浄化センターに流れていくまで～
【下水道施設課☎ 385-4988】
- 下水道のしくみ
～浄化センターの施設の紹介や汚水処理のしくみ～
【浄化センター☎ 383-5174】

下水処理の過程で生まれるものを無駄にしない。これってエコだね。



バイオガスから電気を作る

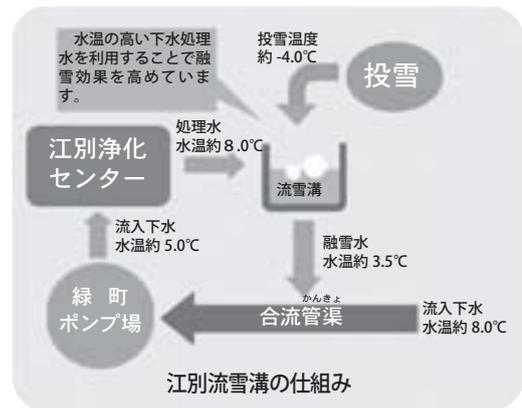
汚泥処理の過程で発生するバイオガスを燃料に電気を作り、また、排熱を暖房などに利用することで、10年間で6500万円の経費削減を達成しました。



江別浄化センターに設置されているバイオガスから発電する設備。同センターの年間電気使用量の約20%を賅うことができます（平成22年度実績）

処理水を排雪に利用する

江別浄化センターから出る温度の高い処理水を排雪に活用する設備があります。



目で見る。平成22年度決算の概要。

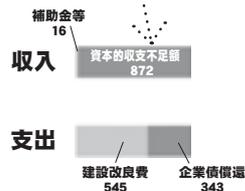
水道事業

※全てのグラフで金額の単位は百万円です

収益的収支



資本的収支



下水道事業

収益的収支



資本的収支



グラフの解説

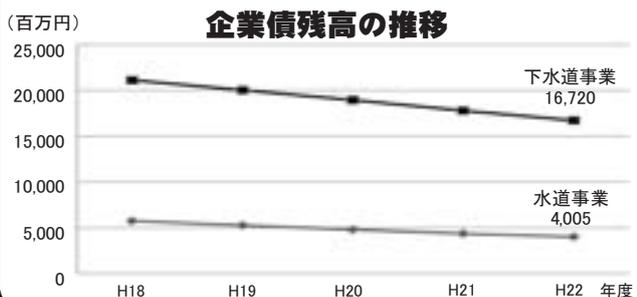
「収益的収支」は単年度の経営状況を示すものであるのに対して、「資本的収支」は、将来にわたって上下水道サービスを提供するための支出と収入の状況を示すものです。

資本的収入が資本的支出に不足する額には、収益的収支における減価償却費等の現金支出を伴わない資金や純利益が充てられます。

前年度につづき健全経営を維持

上下水道事業とも、経費節減に努めた結果、中期経営計画の目標を上回る純利益を計上しています。また、企業債についても、その残高を順調に縮減しており、将来の財政負担の軽減を図っています。

水需要の減少傾向など、上下水道事業を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、引き続き健全な財政運営に取り組みます。



詳しい決算の状況（決算書）および中期経営計画は、水道部ホームページをご覧ください。
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/suidou/suidoutop.html>